

体験記録等掲載者名簿

体験記録Ⅰ	年齢・学年・他	タイトル
1 石川 加代子	表町国民学校 2年生	7歳の私は家族とはぐれて...
2 河田 清	18歳	18歳の記憶
3 清水 慶輔	記載なし	焼け残った土蔵で生活した
4 高井 八重子	表町国民学校 6年生	強制疎開で家を壊された
5 中村 啓雄	長岡中学校 4年生	私の空襲体験
6 長谷川 久	東京市加入子工学部 応用化学科1年生	私は神明神社の防空壕で燃える炭と闘った
7 宮下 徳司	25歳	平潟神社の防空壕に入られなくて助かった
8 阿部 祥一	中島国民学校 6年生	上中島町1丁目まで焼け残った6軒のうちの1軒が私の家だった
9 長谷川 幸子	中島国民学校 2年生	強制疎開で家が壊され、疎開した先で空襲に遭いました
10 河田 剛子	阪之上国民学校 3年生	真っ赤に焼けた空が脳裏に焼き付いて離れない
11 佐藤 武夫	阪之上国民学校 5年生	父は押入れに逃げ、そこで焼死した
12 清水 滄夫	長岡中学校 2年生	恒久平和を願う
13 匿名	記載なし	母はタンスの引き出しを持ち出した
14 酒井 幸	神田国民学校 4年生	長岡空襲
15 高橋 マサ	神田国民学校 3年生	私はその時小学3年生でした
16 小瀬井 鉄男	長岡国民学校 2年生	ほんとうの戦争は終わっていない
17 窪田 セツ	長岡高等女子学校 1年生	女子校の寄宿生は橘吉川辺りを逃げ惑った
18 星野 好枝	長岡高等女子学校 4年生	長岡高等女子校の寄宿舎で空襲に遭いました
19 松澤 潤子	記載なし	初めての当直の夜に空襲に遭った
20 小林 久子	四部丸国民学校 4年生	町にも強制疎開はあった
21 土田 照男	記載なし	福島江の中で助かった両親
22 小幡 佐吉	19歳	不象の焼夷弾が爆発して指4本を切断した
23 金子 源太郎	記載なし	戦争なんかこりこりだ
24 丸山 幸政	19歳	死に行くのに万歳の時代
25 横山 藤四郎	16歳	左近の大型爆弾で4人が犠牲になった

体験記録Ⅱ	年齢・学年・他	タイトル
1 赤石 カズミ	長岡高等実業女学校 5年生	私の人生は長岡空襲で変わった
2 新井 幸子	女学校 1年生	我が家の不幸は空襲後に訪ってきた
3 五十嵐 幸子	26歳	人間、何が幸せになるかわからない
4 五十嵐 智	17歳	宮内もまた大空襲だった
5 小泉 金之助	記載なし	長岡駅から長生橋が見えた
6 木曾 久男	長岡中学校 1年生	不忠の怨憎、温情
7 木山 トシ	30歳	忘れられない空襲
8 齋藤 洋子	長岡高等女子学校 18歳	母とはぐれ猛火の中を一人で逃げ惑った
9 酒井 一枝	18歳	八月に想うこと
10 佐藤 収男	5歳	大阪から疎開して長岡で空襲に遭った
11 佐藤 達男	新橋陸軍予備士官学校 3年生	車中で知った長岡空襲
12 白石 美千雄	中島国民学校 3年生	九死に一生を得た夜
13 鈴木 政雄	21歳	焦げ紙の山は1月後戻りになった
14 諏訪 恒一	18歳	空襲当時、私は室内研練の工具だった
15 大地 昭二	中島国民学校 6年生	私の目の前に焼夷弾が落ちた
16 高橋 テエ	長岡高等女子学校 3年生	女子校の寄宿生は橘吉川の工事へ逃げた
17 田伏 良雄	四部丸国民学校 3年生	何故、長岡が空襲されたかを考える
18 玉橋 トシ子	表町国民学校 5年生	思わしい思い出
19 土田 和子	新潟第一師範学校 女子部1年生	鎮魂の日よ夏夜火
20 土田 ミヨ	四部丸国民学校 6年生	私は国民学校の6年生でした
21 永井 正衛	長岡工業学校 理学科 3年生	土の中から聞こえるレクイエム(鎮魂曲)
22 中川 リツ	記載なし	空襲時、1歳の娘は泣かずに耐えた
23 中澤 秋子	女学校 2年生	血清注射が1本あれば娘は助かったのに
24 高山 徳雄	3歳	軍生津島山家の空襲とその後
25 松川 フミ	19歳	語りた空襲
26 南 照	四部丸国民学校 1年生	土合も空襲に遭い、私の家は全壊した
27 吉野 孝毅	長岡工業学校 4年生	炎の中に消えた学生服
28 若月 恭八	長岡工業専門学校 2年生	8月3日の残照な風景

体験記録Ⅲ	年齢・学年・他	タイトル
1 吉田島 吉輝		この体験記を読むために～戦時下の学校制度～
2 安達 アイ子	長岡高等女子学校 卒業生	学校が陸軍の縫製工場
3 越村 公	長岡女子師範学校 卒業生	真冬の学徒動員で富山市へ
4 大高 孝次	上組農学校 卒業生	松葉油生産のため北海道へ
5 近藤 善彦	長岡第二工業学校 卒業生	名古屋への学徒労働員から命からがらの帰校
6 佐藤 道	長岡高等家政女学校 卒業生	東陣町から悠久山へ逃げる
7 関本 みね子	長岡高等実業女学校 卒業生	下線生2人の手を引き走る
8 田中 芳江	長岡高等実業女学校 卒業生	学徒労働員の工場も我が家も炎上
9 原田 新司	長岡中学校 卒業生	学校警備で奮ひろいして
10 藤田 淳一	長岡工業専門学校 卒業生	平潟神社内の防空壕で最愛の母を失う
11 木間 登志雄	長岡第一工業学校 卒業生	名古屋への学徒労働員から帰郷して2カ月後に軍隊へ
12 金山 公明男	中島国民学校 5年生	長岡大空襲と戦後の苦闘記
13 山崎 健成	長岡中学校 4年生	戦時下の中学校生活と長岡空襲
14 匿名	14歳	信濃川にのみ込まれた弟2人

体験記録Ⅳ	年齢・学年・他	タイトル
1 村山 和江	中島国民学校 6年生	夕焼けがきれいだった8月1日の編隊
2 内山 千枝子	中島国民学校 6年生	赤黒い空の中、真っ黒なB29の編隊
3 中村 誠太郎	中島国民学校 6年生	長期の言葉「白いまんまを履いていっばい食べたい」
4 山崎 久子	表町国民学校 6年生	家族とはぐれ、1人で逃げた長岡空襲
5 太刀川 善之助	表町国民学校 6年生	深溝でさえ黒こけりになった長岡空襲
6 羽賀 雅子	阪之上国民学校 5年生	私の戦中・戦後
7 岩淵 一郎	千手国民学校 6年生	7月20日と8月1日、2つの空襲
8 丸山 信次郎	海軍甲種飛行予科生 1年生	朝から晩まで、怒られ、殴られ、走らされた予科練
9 町永 竹松	海軍甲種飛行予科生 1年生	家族の罪になるため志願した海軍予科練
10 藤原 貞次郎	記載なし	草まで食べたガダルカナル島の戦い
11 田中 愛子	長岡高等女子学校 4年生	すぐそこに落ちた不象の焼夷弾
12 新井 淳夫	千手国民学校 6年生	足に直撃を受けた姉を背負い、共に亡くなった父
13 末武 文字	長岡高等実業女学校 1年生	同じ日に旅立った祖父母
14 二宮 篤子	長岡高等女子学校 2年生	1つの記録

体験記録Ⅴ	年齢・学年・他	タイトル
1 須藤 博介	長岡商業学校 1年生	長岡空襲と私の左腕
2 加澤 ヨシ	長岡高等女子学校 1年生	父の死と平潟神社の惨状
3 菊地 昭治	長岡中学校 4年生	6人家族が1人となる
4 香田 光	舞鶴海軍病院 長岡赤十字分院看護婦	長岡空襲下の長岡赤十字病院
5 守屋 ミサ	従軍看護婦	長岡日赤病院から召集された従軍看護婦
6 鈴木 秋子	長岡高等女子学校 1年生	戦時下の暮らしと長岡空襲
7 柳川 司	長岡中学校 2年生	両親の重傷と親友の死
8 中川 幸次	新潟第一師範学校 予科1年生	戦時下の国民学校と師範学校
9 遠藤 好子	長岡空襲の4日前に生まれる	生れて4日後に長岡空襲に遭遇・その後
10 五十嵐 和子	記載なし	集土の境内で「君が代」を歌う
11 吉岡 巖	長岡第一工業学校 後援第二本利	長岡工業生「防空要員」の長岡空襲の夜

体験記録Ⅵ	年齢・学年・他	タイトル
1 谷 芳夫	表町国民学校 2年生	母と死別した長岡空襲
2 志賀 祐司	中島国民学校 4年生	戦時下のくらしと長岡空襲
3 相田 清野	記載なし	書籍【長岡空襲体験者の証言】
4 萩原 ハナ	長岡高等家政女学校 専攻科	8月2日姉妹の遺体を運ぶ
5 山田 喜三郎	千手国民学校 4年生	腹いっぱいになって太田川土手へ
6 佐々木 暁子	上組国民学校 高等科1年生	軍国少女のめざめ
7 白石 美千雄	中島国民学校 3年生	露橋の下で助かった命
8 高野 美子	四部丸国民学校 6年生	空襲翌日に治療を始めた病院
9 中村 幸	長岡高等実業女学校 3年生	1つの命の重み

体験記録Ⅶ	年齢・学年・他	タイトル
1 芝井 良子	新潟県定例市所専修部 電信科甲学級	疎開3日目に長岡空襲
2 木村 忍	長岡国民学校 1年生	宝田公園の防空壕で助かった
3 神保 稔	西片貝国民学校 校助教	戦争戦争ですべてを奪われた青春時代
4 渡辺 栄子	千手国民学校 4年生	父の必死の助けで生きることができた家族
5 太刀川 善三	表町国民学校 4年生	明治公園から橘吉川へ逃げた
6 富士崎 スイ	長岡高等実業女学校 校務	脳裏より湧き出る長岡空襲
7 高橋 賢一	表町国民学校 3年生	長岡空襲当時の我が家
8 山田 重行	長岡豊隆中学校 中等部3年生	ろうあ者が手話る 長岡空襲
9 岩田 清枝	長岡豊隆中学校 中等部3年生	ろうあ者が手話る 長岡空襲
10 北村 節子	長岡市役所 戸籍科職員	20年6月 父の転勤で長岡へ
11 渡辺 サキ	長岡防空監視増設員	空襲の夜は監視哨の勤務だった
12 高橋 正康	千手国民学校 5年生	防空壕の遺骨を片づける
13 櫻刈 トシ	長岡国民学校 1年生(担任)	忘れ得ぬ一夜
14 酒井 レイ	長岡高等女子学校 2年生	長岡工業学校の校門に救われる
15 西澤 隆	6歳	大阪から疎開して、1日遠いで母、弟、妹を失う
16 太田 ミス	マルツウ倉庫専務員	橋脚が燃えている栄橋を渡って逃げた
17 今泉 弥	千手国民学校 5年生	戦災を体験した私達家族
18 今泉 恭子	長岡幼稚園年長児	東京の疎開女生徒に助けられた私達

体験記録Ⅷ	年齢・学年・他	タイトル
1 番場 直子	記載なし	平潟神社の井戸で親子3人助かる
2 奥津 嘉雄	長岡高等女子学校 3年生	教育勸諭を持って逃げる
3 寶井 和子	長岡中学校 3年生	長岡空襲の記憶
4 小林 文	長岡女子師範学校 1年生	空襲後も食糧難
5 渡辺 実	東千手国民学校 5年生	忘れたいあの日の夜
6 廣井 太計夫	記載なし	忘れえぬ思い出
7 櫻井 修	東千手国民学校 4年生	空襲の時は悠久山へ逃げよう
8 清水 誠一	長岡中学校 1年生	外川踏切を越えて
9 鈴木 孝	長岡市課長	市役所からの脱出
10 反町 忠夫	長岡工業学校 1年生	我が家の焼失と親友の死
11 山谷 恒雄	長岡国民学校 1年生	長岡空襲とその後の暮らし
12 木村 初江	長岡商業学校 1年生	家族5人、四部丸から鉢伏へ避難
13 木村 純三	長岡国民学校 1年生	高畑へ逃げる
14 片桐 ミヨ	長岡国民学校 1年生	やみ米と空襲
15 中村 てるよ	千手国民学校 2年生	空襲から家族を救おうとした父の死

体験記録Ⅸ	年齢・学年・他	タイトル
1 佐田 良輔	表町国民学校 5年生	暑い夏の悲しい思い出
2 吉見 忠司	記載なし	生命カラガラの避難
3 目黒 節子	長岡国民学校 2年生	母と妹の死
4 宮崎 美智子	長岡高等女子学校 1年生	おばあちゃん連れて山へ逃げろ
5 細山 久美	長岡高等実業女学校 1年生	月夜の雨 長岡空襲の記憶
6 渡野 フサ子	記載なし	家は焼け残ったが食糧に苦労した
7 藤原 久子	長岡高等女子学校 1年生	長岡空襲と父の死
8 松井 照子	長岡女子商業学校 1年生	父の叫び 空襲くらいで死んでられるか
9 三浦 剛夫	東千手国民学校 5年生	追廻橋の下で家族6人救われる
10 早川 恵美子	長岡高等実業女学校 2年生	長岡空襲と機銃掃射
11 滝沢 康	生後5か月	母と兄姉が語る長岡空襲
12 野崎 眞知子	3歳	よそ者はこの道を通るな
13 横田 ヨシノ	長岡高等女子学校 3年生	東大新江の土橋の下で
14 須藤 高明	橋尾実業学校 1年生	私の体験した空襲 私が学んだ戦争

体験記録Ⅹ	年齢・学年・他	タイトル
1 韓田 ヒデ	長岡国民学校 2年生	母は重傷 姉は真っ黒な遺体
2 池田 ミヤ子	千手国民学校 6年生	私たちを助けてくれた姉
3 櫻井 信子	長岡高等女子学校 1年生	母の無念を抱きながら
4 小山 悦子	表町国民学校 1年生	母と兄の遺体を捜して
5 星野 榮子	中島国民学校 2年生	救われた命 平潟神社の井戸の中で
6 今井 千代	記載なし	平潟神社の防空壕に入れなくて
7 斎川 宏吉	長岡工業専門学校 1年生	名古屋学徒動員と長岡空襲父の死
8 小瀬井 登介	長岡国民学校 1年生	空襲
9 荒川 厚	長岡中学校 1年生	墓地を越え信濃川の土手へ
10 細井 久雄	中島国民学校 2年生	防空壕から押し出され助かる
11 佐藤 正二	中島国民学校 2年生	私を連れてくれた子3姉
12 ジャクソン 信	長岡高等女子学校 3年生	忠魂碑の下から70年
13 内田 美穂子	長岡高等女子学校 2年生	自宅周辺が焼残っていた理由は
14 本山 敬子	長岡女子師範学校 1年生	耳に残るあの声
15 松井 富恵	千手国民学校 4年生	肥溜めに救われた6人の生命
16 下田 裕子	東千手国民学校 5年生	一之橋下で炭と煙と格闘の一夜
17 今井 恭子	四部丸国民学校 2年生	店のお客様の親切のリレー
18 武笠 和子	四部丸国民学校 1年生	7歳の記憶 空襲を語る最後の年代
19 山田 文	坂井外科病院 看護婦	新米看護婦の長岡空襲
20 河原 ムツ	旧三島部片貝村郵便局勤務	赤城神社防空壕からの脱出
21 土田 ミヨ	四部丸国民学校 6年生	逃げた先はお山から離れた孫の農家

10年誌	年齢・学年・他	タイトル
1 小林 亨	長岡工業専門学校 1年生	6人のお骨を抱いて
2 金子 登美	表町国民学校 6年生	もう1度生きて
3 七里 アイ	記載なし	長女美智子を亡くす
4 石澤 郁子	中島国民学校 6年生	この世の地獄
5 長谷川 久	東京帝国大学 工学部 1年生	私は神明神社の防空壕で燃える炭と闘った
6 新井 淳夫	千手国民学校 6年生	足に直撃を受けた姉を背負い、共に亡くなった父
7 加澤 ヨシ	長岡高等女子学校 1年生	父の死と平潟神社の惨状
8 星野 榮子	中島国民学校 2年生	救われた命 平潟神社の井戸の中で
9 池田 ミヤ子	千手国民学校 6年生	私たちを助けてくれた姉
10 櫻井 信子	長岡高等女子学校 1年生	母の無念を抱きながら
11 白石 美千雄	中島国民学校 3年生	露橋の下で助かった命
12 谷 芳夫	表町国民学校 2年生	母と死別した長岡空襲

20年誌	年齢・学年・他	タイトル
1 小林 亨	長岡工業専門学校 1年生	6人のお骨を抱いて
2 金子 登美	表町国民学校 6年生	もう1度生きて
3 七里 アイ	記載なし	長女美智子を亡くす
4 石澤 郁子	中島国民学校 6年生	この世の地獄
5 長谷川 久	東京帝国大学 工学部 1年生	私は神明神社の防空壕で燃える炭と闘った
6 新井 淳夫	千手国民学校 6年生	足に直撃を受けた姉を背負い、共に亡くなった父
7 加澤 ヨシ	長岡高等女子学校 1年生	父の死と平潟神社の惨状
8 星野 榮子	中島国民学校 2年生	救われた命 平潟神社の井戸の中で
9 池田 ミヤ子	千手国民学校 6年生	私たちを助けてくれた姉
10 櫻井 信子	長岡高等女子学校 1年生	母の無念を抱きながら
11 白石 美千雄	中島国民学校 3年生	露橋の下で助かった命
12 谷 芳夫	表町国民学校 2年生	母と死別した長岡空襲